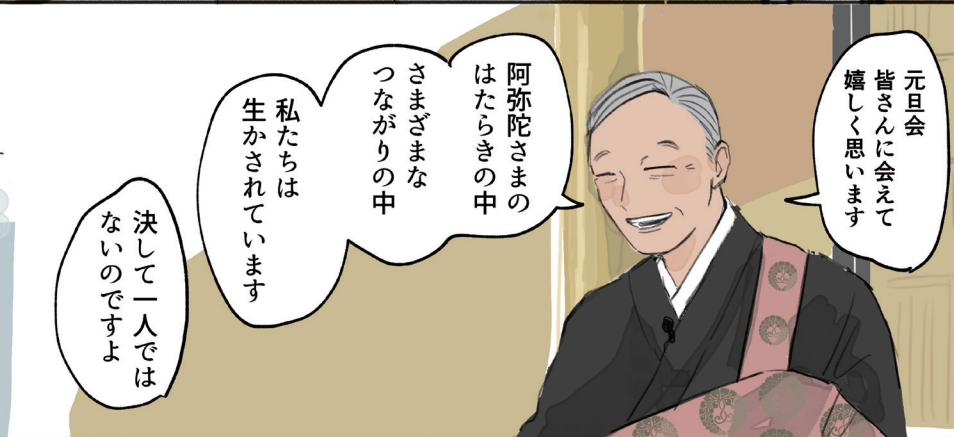
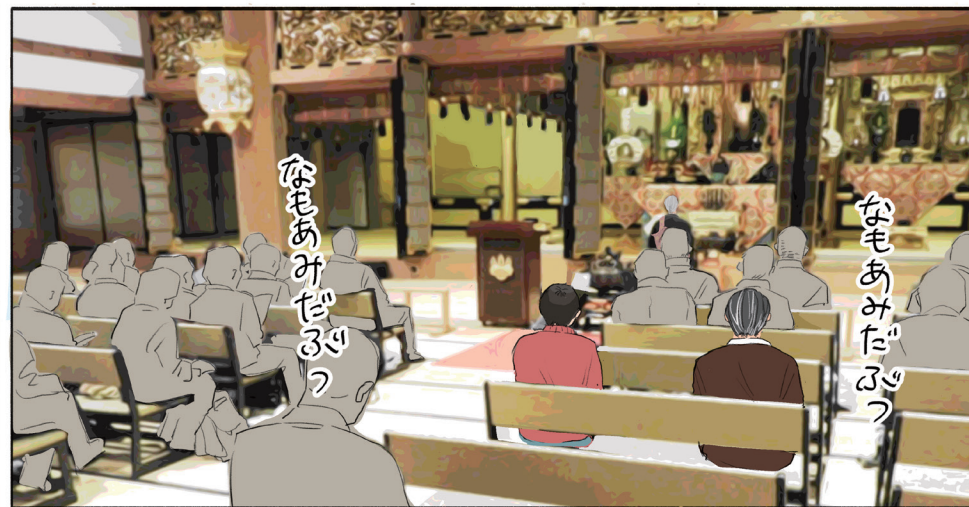
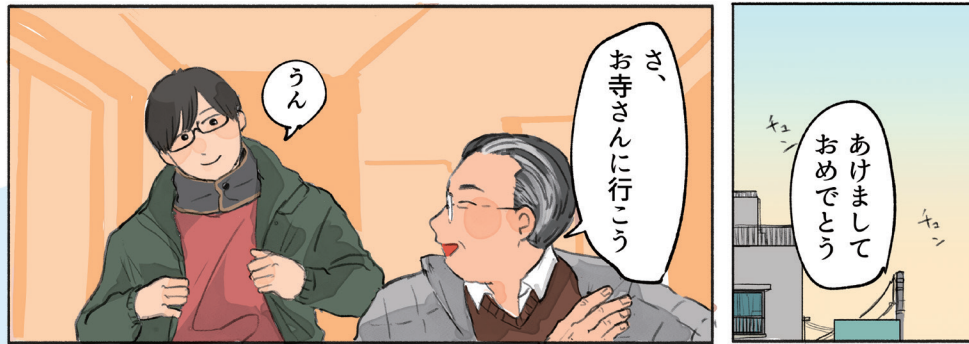
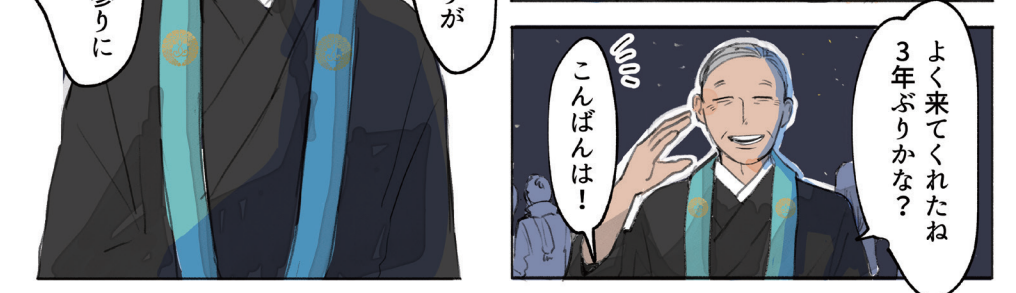
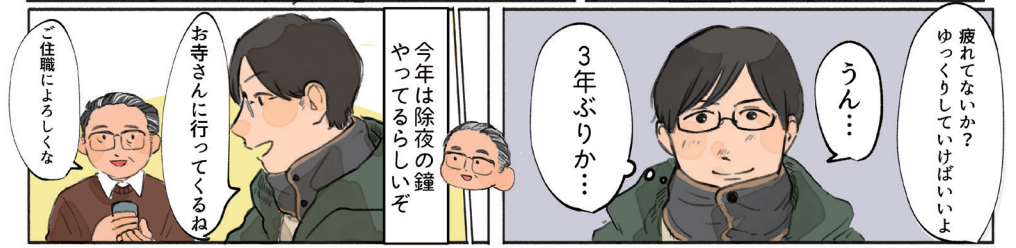




お寺に参って良かった...
今年も一年、頑張れそうだな



今年もみんなでお寺に参りましょう



今年もみんなでお寺にお参りしましょう



ポスターのデータは
ホームページに掲載しています



大晦日・元旦編



私たちの日常は思い通りにならないことばかり。多くの人が不安やイライラをつのらせて生活しているのではないのでしょうか。

「一切皆苦(いっさいかいく)」という仏教の言葉があります。私たちの身の回りの物事は全て思い通りにならない、つまり、思い通りにしたいという思いが苦しみの原因であるという教えです。

そんな思い通りにならない日々を過ごす中で、その原因に気づかされることにより、ホッとできたり安心できたりする時間や空間が持てることは、私たちの身体的・精神的な「支え」となります。

この漫画は、慌ただしい日常を送る青年の久しぶりの帰省を描いています。

- ・久しぶりのお寺と除夜の鐘
- ・こころ新たにする元旦のお参り【元旦会(え)】
- ・元旦会でのご住職の法話

忙しい毎日の仕事から一旦離れて、青年が実家やお寺で触れたものは、彼の「支え」だったのではないのでしょうか。

そして、その背景にはいつも阿弥陀さまがおられます。

『高僧和讃』に

煩悩(ぼんのう)にまなこさへられて
摂取(せっしゅ)の光明(こうみょう)みざれども
大悲(だいひ)ものうきことなくて
つねにわが身をてらすなり
と親鸞聖人はお示しくくださいます。

自己中心的な考えにさえぎられて、阿弥陀さまのおはたらきが今ここに届いてくださっていることを忘れがちな私たちです。

そんな私たちの慌ただしさを突き抜けて、阿弥陀さまは「あなたを決してひとりにさせないよ」「いつでもどこでも一緒だよ」とはたらきかけてくださいます。

阿弥陀さまのおはたらきというゆるぎない「支え」により、青年はまた日常に戻っていくのでした。

今年もみんなでお寺にお参りしましょう。

